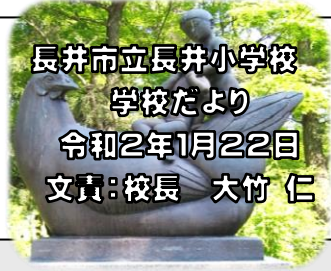


慈愛の森

長井市立長井小学校
学校だより
令和2年1月22日
文責:校長 大竹 仁



3学期は、学年の締めくくり、 そして、次の学年や中学校への準備期間

3学期は、登校日が49日の短い学期ですが、3月17日の修了式、6年生は18日の卒業式をゴールとし、1年間の締めくくりとなる大事な時期です。そして、3学期の学習や生活が次の学年や中学校へ生きてきますので、4月からの準備期間でもあります。新しい年が明け、新たな気持ちでしっかり前を向いてがんばってほしいと思います。3学期始業式で代表として発表してくれた2人の児童の作文を紹介します。

3学期がんばること

3年 四釜 栞

わたしは、3学期がんばると決めたことが3つあります。

一つ目は、運動です。2学期は、トリム走20周を達成することができました。これは、走る周数を決めたり、友達と「1周でも多く走ろう」と声をかけ合ったりしながら取り組んできたからです。3学期は、なわとびのめあてを決めてたくさんとび、色々なわざができるようにちょうせんしていきたいです。

二つ目は、手をあげて発表することです。わたしは、発表することがとく意ではありません。ある時、先生から「まちがってもいい勉強になります。」と教えてもらいました。それを聞いて、わたしは「少しでも手をあげよう。」と思うようになりました。2学期は、一日3回手をあげることを目標にしてきました。3学期は、一日5回手をあげることを目標にしてがんばっていきます。

三つ目は、あいさつ・言葉づかいです。クラスで「しずかにして」を「しずかにしよう」と言いかえることをがんばってきました。言いかえたことで、クラスのふんいきが明るくなったように感じます。3学期も続けていきたいと思います。また、あいさつ運動を通して、わたしはあいさつを返してもらえないさみしさを知りました。3学期は、自分からあいさつしたり、あいさつをしっかり返したりしていきたいです。

3学期は「4年生のゼロ学期」とも言われます。3学期で力をつけて、4年生になるじゅんぴをしていきたいと思っています。



勇気を出してがんばりたいこと

5年 坂爪 香蓮

私は、2020年は、勇気を出して一歩ふみ出す1年にしたいと思っています。

学習では、たくさん手を挙げて発言・発表することです。発言・発表をすれば、もし正解ではなかったとしても自分の力になります。だから今年は、去年の私よりレベルアップするためにこの目標を立てました。まずは、私の好きな算数や理科、社会を中心に1時間に3回以上手を挙げられるようにがんばりたいです。

生活では、立ち止まって、にこにこ笑顔で、先に自分から、相手の目を見てあいさつすることです。2学期には、こぼと会で「あいさつおでん」の取り組みをして、みんなでこの目標をクリアしました。私たちは4月から最高学年になります。ですから、新しく入学する1年生のお手本となるようなすてきなあいさつをしたいです。

また、5分前行動も目標です。2学期は様々な場面で3分前行動になってしまいました。3分前だと準備が終わらないこともあったので、今年はあと2分よゆうを持ち、準備以外にも読書や予習をして授業にのぞんだり、落ち着いて生活したりしたいと思います。

最後に、6年生に向けて特にがんばりたいことは、何事にも自分から挑戦することです。1学期は達成するのが難しかったけれど、2学期の後半から、少しずつ勇気がつきました。私は去年まで、様々な場面で代表に挑戦したかったけれど、勇気が出なくてできませんでした。だから今年は、この作文発表をきっかけにして、もっと様々なことに挑戦していきたいです。

今年は最高学年になる年なので、今までの自分をこえられるように、勇気を持って生活したいです。4月に胸を張って新1年生を迎えられるように、3学期も下級生のお手本となることを意識してがんばりたいです。



(J1 ヴィッセル神戸)

渡部博文先輩

母校へようこそ!

~全校生に講演と実技を披露、 学校への激励金に感謝~1/14

昨年の元旦の山形新聞に、県出身で活躍しているスポーツ選手として渡部博文選手が紹介されました。そのことを昨年3学期の始業式で校長が取り上げたことをきっかけに、当時の担任の先生との縁で講演会が実現しました。

その時の記事の中には、6年生の時の渡部選手の作文もあり、「ぼくの20年後はサッカー選手をやっています。ワールドカップ大会に出場し、ぼくの強烈なシュートで優勝を果たすのです。」と将来の夢も書いています。今回の講演で、渡部選手は、「サッカー選手になることができ、夢は半分実現したかな」とお話しされ、さらに「夢を持つこと」「考えて行動すること」「あきらめないこと」の大切さと、「まわりの人に感謝することを大事にしてほしい」と子どもたちに語りかけました。「渡部選手のお話を聞いて、夢に向かって進みたいと思うようになった。」と感想を述べた児童もあり、長小の先輩のひとと言ひと言が子どもたちの心を動かしたように感じました。

渡部選手からは、長井小の皆さんへ多額の激励金もいただきました。今後、児童の教育活動に有効に使わせていただきます。心から感謝申し上げます。

長井市出身でサッカーJ1神戸の渡部博文選手(32)が14日、母校・長井小(天)に「世界に通用する選手になる」をテーマに講演し、508人(児童)と交流した。同校教員が渡部選手の小学校時代に担任だった縁から初めて実現。古里の後輩たちに夢を持ち、継続することの大切さを熱く説いた。渡部選手は同校から長井南中、山形中央高に進み、専大からJリーガーに。J1の柏や仙台で活躍し、2017年から神戸に所属している。



児童代表にサイン入りユニフォームをプレゼントした渡部博文選手(右)。長井市・長井小。合間には愛称なキックや打点の高いヘディングを披露し、児童代表にサイン入りユニフォームをプレゼント。最後に全員で記念写真に納まった。(写真提供)

続ければ道は開ける

児童代表にサイン入りユニフォームをプレゼントした渡部博文選手(右)。長井市・長井小。合間には愛称なキックや打点の高いヘディングを披露し、児童代表にサイン入りユニフォームをプレゼント。最後に全員で記念写真に納まった。(写真提供)

J1神戸・渡部選手 母校の長井小で語る

児童は質問で「周りが上手で諦めてしまつたな」といふ声も聞かれた。渡部選手は「諦めず、練習を繰り返せば必ず上れる」と語り、夢を叶えるには諦めず努力を続けることが大切だと話した。

(山形新聞 令和2年1月15日付け)

3学期の学級委員(2~4年)決定

まとめの3学期、学級委員を中心に学年の締めくくりにあふさわしい学級を作りましょう。

2の1	酒井遼太郎	吉田朱里	3の1	宮内智弘	早乙女心望	4の1	左右田剛琉	佐藤后珠
2の2	佐藤成之助	小野心雪	3の2	中井瑛基	四釜彩妃	4の2	木村楓馬	鈴木優亜
2の3	安部真叶	大沼みやび	3の3	高橋瑠真	布施春乃	4の3	中川 翔	星結希愛
2の4	大澤 心	平野絢菜	(5, 6年生は前・後期制となっています)					

ありがとうございます

株式会社四釜サッシセンター様から、今年も、図書券(3万円分)をいただきました。子どもたちが好きな本を購入したいと考えております。本当にありがとうございました。



【お家の方へのお願い】

過日、保健だよりでもお知らせしましたが、お子さんがインフルエンザ等の感染症にかかった場合は、連絡帳や配布物を家庭に届けることができません。欠席の連絡は連絡帳ではなく、電話で学校をお願いします。(Tel 84-1701)

なお、きょうだいの場合、連絡帳や配布物の依頼は構いません。

2月の主な行事予定

- 2/1(土) 授業参観・学級懇談会(午後) 弁当の日
 - 3(月) 振替休業日
 - 4(火) 安全点検日
 - 5(水) 慈愛の日・いのち輝く日の日
 - 6(木) 全校一斉算数テスト
 - 7(金) 就学児一日入学
 - 10(月) PTA三役会
 - 11(火) 学校集金日、児童会委員会活動
 - 12(水) 建国記念の日、市民スキー大会
 - 13(木) 職員会議
 - 14(金) 学力検査(国語、社会)
 - 18(火) 学力検査(算数、理科)
 - 21(金) 学校運営協議会
- 長井小アウトメディア読書デー
PTA理事・評議員会